

SD

87  10

UNDER 40 JAPAN

[特集]

40才前の建築家101人

101 Japanese Architects under 40

戦後に生をうけ、60年代末の大学闘争後に教育をうけた、40才前の若い建築家やインテリアデザイナーたちは、上の世代とは**価値観**、**デザイン観**などにおいて**一線**を画しながら、みずからの**アイデンティティ**を求めて多様な**試み**を始めている。

1948年生まれ以降の、**独立**して活動し、すでに幾つかの**作品**を完成させている**101人**の紹介を通して、**under 40**の世代としての**ポテンシャル**の輪郭を描く。

ISSN 0563-0991

スペースデザイン都市・建築・芸術の総合誌
第277号昭和62年10月1日発行毎月1回1日発行
昭和40年2月5日第3種郵便物認可





表紙写真
GRIFFIN:日比野克彦
撮影:平井広行

特集

Under 40 JAPAN

40才前の建築家101人

編集長

伊藤公文
編集スタッフ
相川幸二
豊田正弘
浜地三千世
中江 哲
川辺美紀子

アート・ディレクター

工藤強勝
デザイン・レイアウト
上田宏志
釣巻敏康
デザイン実験室

発行人

河相全次郎
編集人
長谷川愛子
発行所
鹿島出版会
〒107
東京都港区赤坂六丁目5番13号
電話(03)582-2251(代)
振替 東京6-180883番
TLX:02422467 KAJIMA J
FAX:(03)589-2928

印刷・製本

凸版印刷株式会社
〒174
東京都板橋区志村1-11-1
電話(03)968-5111(案内)

取次店

東販・日販・大阪屋
栗田出版販売・誠光堂
鈴木書店・西村書店・中央社

特別定価

2,800円
年間直接購読料
22,000円
(特別定価号+送料込み)

8

作品

●

- 8 秋田雄二
- 10 青木茂
- 12 荒知幾
- 14 新居千秋
- 16 アーキテクト・ファイブ
- 18 芦原太郎
- 20 七月工房
- 22 鮎川透
- 24 坂 茂
- 26 リシャール・ブリア
- 28 シーラカンス・アーキテクト
- 30 團紀彦+青島裕之
- 32 越後島研一
- 34 深谷健司
- 36 古谷誠章
- 38 原 尚
- 40 原口修
- 42 日田兆
- 44 平口泰夫
- 46 平倉直子
- 48 菱沼利行
- 50 堀池秀人
- 52 飯田善彦
- 54 飯島直樹
- 56 池上俊郎
- 58 井上揺子
- 60 入江経一
- 62 伊坂重春+佐藤道子
- 64 石田敬明
- 66 石井勉
- 68 板井宝一郎+西島裕
- 70 伊藤颯彰
- 72 岩切平
- 74 岩村和夫
- 76 笠嶋淑恵
- 78 桂英昭
- 80 川村正士
- 82 金相珍
- 84 木村丈夫+野田俊太郎
- 86 貴志雅樹
- 88 岸和郎
- 90 北川原温
- 92 北村修一
- 94 小橋川茂
- 96 小林克弘
- 98 小松清路

- 100 小室雅伸
- 102 近藤春司
- 104 近藤康夫
- 106 久保清一
- 108 隈研吾
- 110 栗田仁
- 112 桑谷佳容
- 114 前田光一
- 116 増田実+米田有
- 118 宮里龍治
- 120 宮澤秀治
- 122 森田正樹
- 124 村上徹
- 126 内藤廣
- 128 中埜博
- 130 新田正樹
- 132 緒方四郎
- 134 小川晋一
- 136 小川富之
- 138 大江匡+原田直+山内俊之
- 140 大石雅昭
- 142 大野秀敏
- 144 沖健次+渡辺妃佐子
- 146 大塚豊一
- 148 バルフィ・ジョージ
- 150 フェイズ・アソシエイツ
- 152 関口雄三
- 154 妹尾正治
- 156 染谷正弘
- 158 染谷哲行
- 160 杉浦伝宗
- 162 多田善昭
- 164 高橋真
- 166 高松伸
- 168 高崎正治
- 170 武田光史
- 172 竹原義二
- 174 竹山聖
- 176 玉城浩也
- 178 徳井正樹
- 180 梅田節郎
- 182 海野健三
- 184 浦田義久+篠崎元
- 186 歌一洋
- 188 若林広幸
- 190 渡辺誠
- 192 ワークショップ
- 194 山田朗
- 196 山田正永
- 198 柳田良造+石塚雅明
- 200 安田哲也
- 202 安井秀夫
- 204 八束はじめ
- 206 遊佐隆之
- 208 湯澤正信

210

プロフィール+データ

218

101 under 40
——言語の深き森の奥から
川向正人

227

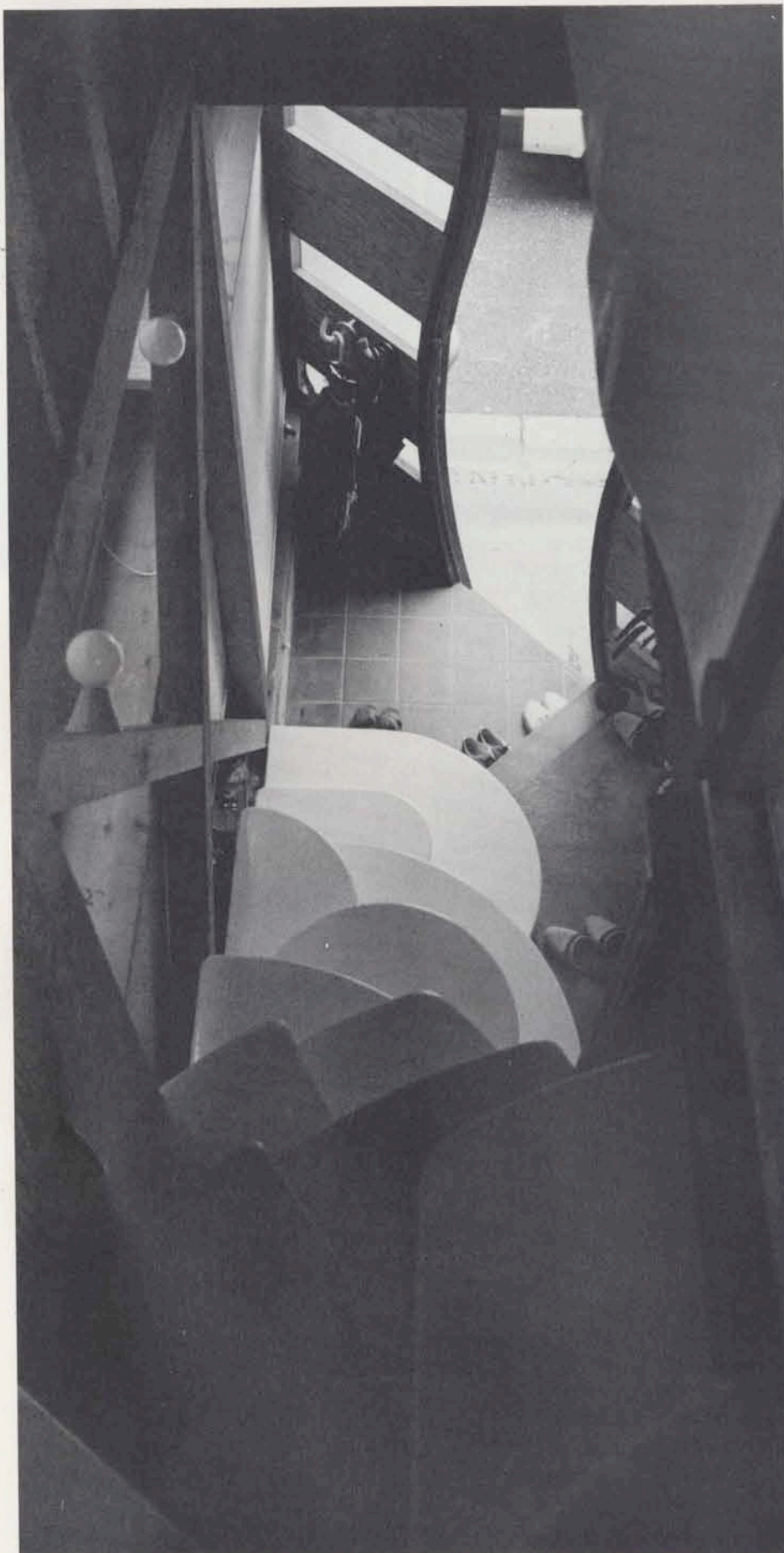
書評

236

お知らせ

241

海外建築情報
サラダな風がふく
DUCTSPACE=編



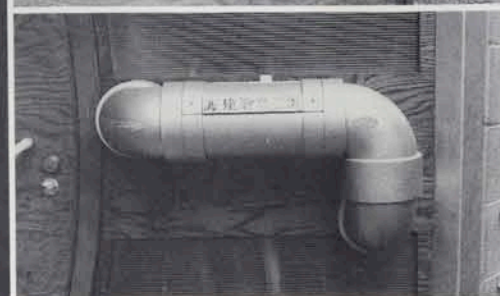
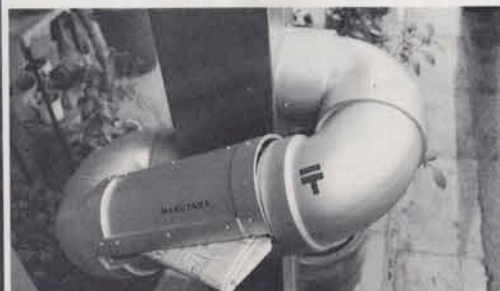
自作実験住宅

オリジナルでなければつくる意味がない。いくら
予算がなくても、必ずひとつは新しいオリジナルを
入れていく。

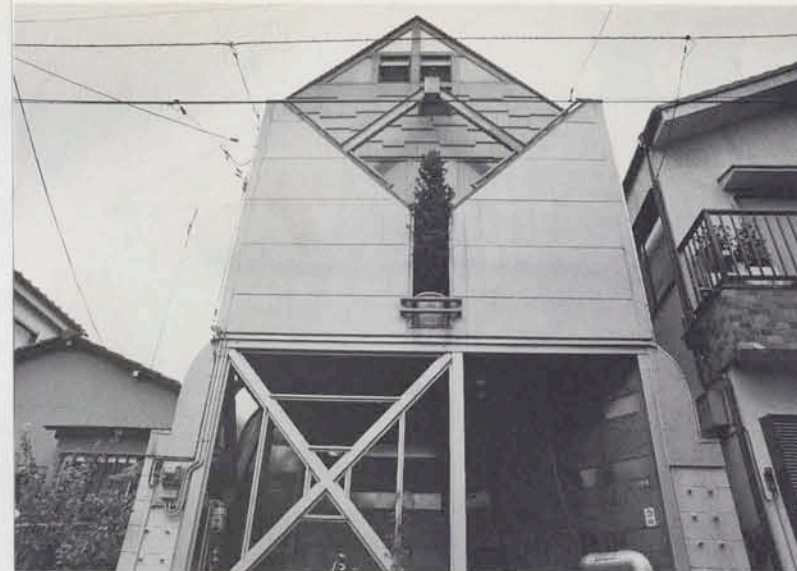
住まうこととは、地上に生まれてどう生きるかの拠
点になることだ。そこに住まう命が輝ける命であ
ることを願わざるを得ない。輝き方にはいろいろ
あるのだろう。が源流は一筋にある。それは命の
尊さ、自然の尊さ、そのかくわしき喜びである。病
気の時も、不安な時も、安らぎとともに方向性を得
られるようなゆったりとした大河のような源流が、
胸の内にあることである。空間の内にもそういう
ものも含ませたい。それほどむずかしいことでは
ないと思う。不幸はこの世に何百種類もあり、不
幸を表現することはむずかしいけれど、幸福とは概
してひと通りだからだ。しかしそういう空間を表
現するだけでなく、その空間に力を持たせなければ
ならない。オリジナルであることが、その力とな
る。また私自身のつくるといふことにおいても、
オリジナルでなければ、時間をかけ、手間をかける
私自身も輝かない。

金はなるべくかけない。現在、家は高すぎる。金
にあかして欲しいものを手に入れるやり方はそぐわ
ない。金をかけなくてもよい住まいはつくれるし、
そういう家が好きだ。適当な距離に幸せがあるの
がいい。

空調も、自然の尊さを損なうようなものは使わない。
命の尊さを損なうようなビニールクロスも使わない。



UNNO Kenzo

海野健三
海建築家工房

自作実験住宅



福島部



丸山部

Architect's Own House, Fukushima House, Maruyama House
自作実験住宅、福島部、丸山部